



おんちゅう 御中 はどんなときに使うの

個人ではなく、団体あてに出す郵便物につける

わたしたちがお友だちに葉書などの郵便物を出すときには、相手の名前を書いて、その下に「様」という字をそえますね。たとえば、「山田太郎様」と書きますね。

相手が個人ではなく、官庁・会社・団体などの場合は、あて名の下に、「御中」と書きそえます。

たとえば、東京都教育委員会に郵便を出すときは、「東京都教育委員会 御中」と書きます。このとき、「教育委員会様」と書かないように注意しましょう。

また、学研に手紙を出す場合は、「学研 御中」と書きます。

どの「殿」というそえ書き

「様」と同じような意味で、「殿」も使われてきました。相手の名前や役職名（社長・部長・課長など）に「殿」とつけ、相手を敬う気持ちを表します。わたしたちのふだんの生活の中でも、公用の文書や手紙などに使われているのをみかけます。

この「殿」は、男性に対しても、女性に対しても、同じように使われてきました。しかし、女性に対して、「殿」は、失礼だという意見があり、最近では、「殿」という書き方をやめて、男性にも女性にも「様」と書くことが多くなっています。（監修・田代 脩）

